

課題2 レポート用紙（この用紙でなくても構わないが必要な項目はもれなく書くこと）

学籍番号： _____

氏名： _____

1. 発見した毒キノコ判定規則（配点5点）

条件式：

※この条件式が真ならば毒キノコ (+1), 偽ならば毒キノコでない (-1) と判定する

2. この発見した規則の精度（配点5点）

ファイル _____ のキノコを用いて `test.rb` で実験したところ次のような結果が得られた.

(精度検査の結果)

(補足)

ファイル中のキノコの数：

そのうちの毒キノコの数：

3. この規則をどのように発見したか？

① 使ったプログラム

- ・ `count42.rb` ← これを使わなかったかもしれないが、このプログラムは最後の付録に入れたので説明を書くこと（配点3点）

(以下、自分たちのチームで使ったプログラムを挙げ、重要なものは、その計算の仕組みを付録で説明すること)

- ・
- ・

② 発見に至った手順（やったことを順を追って箇条書きで書くこと，配点 7 点）

(1)

4. その他の工夫や別途発見した規則（もしあれば書くこと，加点対象）

付録 使ったプログラムのソースコードと解説（下線部に説明を書くこと）

プログラム名 : count42.txt

プログラムの働き（仕様）:

data1000.txt を用いて $a[4] == 2$ という条件の良さ測る. 具体的には以下を求める.

- $a[4] == 2$ かつ毒キノコの数と $a[4] == 2$ となるキノコの中での割合
- $a[4] == 2$ かつ毒キノコでなかった数と $a[4] == 2$ となるキノコの中での割合

計算の仕組み（概要）:

```
n42p = n42n = 0
```

```
stop = false
```

```
while !stop do (各部分で何をしているかを説明する)
```

```
  a = gets().split.map(&:to_i) ← _____
```

```
  if a[0] == 0 then } ← _____
    stop = true
```

```
  else
```

```
    if a[4] == 2 then ← _____
      if a[0] == 1 then
        n42p = n42p + 1
      else
        n42n = n42n + 1
      end
    end
```

```
  end
```

```
end
```

```
end
```

```
# 集計
```

(何を求めているかを説明する)

```
n42 = n42p + n42n ← _____
```

```
r42p = n42p.to_f / n42.to_f ← _____
```

```
r42n = n42n.to_f / n42.to_f ← _____
```

(次ページ以降に自分たちで作成したプログラム（もしあれば）を添付し説明する, 加点対象)